事業所名　かどるあっぷ

支援プログラム

作成日　令和7 年　1 月　31 日

法人（事業所）理念	私たちは共感から始めます。　・利用者、家族、地域の思いをつなぐために ・互いに理解し認め合うために			
支援方針	・一人ひとりにしっかりと寄り添った個別支援を目指します。 ・楽しみながら「できる」経験を増やし、生きる力や周囲との関係性を築く力を育てます。 ・利用者とその家族に寄り添い、安心と信頼の居場所を提供します。			
営業時間	9 時 00 から 17 時 00 まで	送迎実施の有無	あり　＊学校休業日は、送りのみ。	
	支　援　内　容			
本人支援 健康・生活	・健康状態の観察、基本的な生活スキル（衣類の着脱・食事・排泄など）を個々に合わせた支援を行う。 ・それぞれの利用者に応じた身体的、認知・精神的機能の訓練を行う。 ・医療的ケアの必要な利用者は、ご家族や主治医との情報共有を行う。			
本人支援 運動・感覚	・散歩、公園の遊具遊び、運動や音楽遊びの活動を通して、粗大運動の発達を促す。 ・日常生活に必要な移動能力と作業能力の向上のための支援を行う。（自力での身体移動や歩行、車椅子による移動、指先の訓練） ・感覚過敏や鈍麻を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整を行う。			
本人支援 認知・行動	・１日のスケジュールを視覚的に提示することで、見通しを持って安心して行動できるようにする。また、障がいの特性に配慮し、時間に応じた行動の切り替えを促す。（タイマーや絵カード使用） ・自分でやりたいことを選択し、個人のスケジュールを組み立てる手助けを行う。 ・パーティションや個別の部屋を用意して視覚刺激の少ない環境づくりを行う。 ・音楽遊びを通して、五感を刺激する活動を行う。（楽器、リズム、ダンス、ミュージックケア）			
本人支援 言語コミュニケーション	・指さし、身振り、サイン等を用いた意思の伝達を促す。また、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を活用する。 ・あいさつ、呼名の返事、朝の会帰りの会の司会、発表での自発的な発声を促す。 ・他者との関わりの中で、「思いやりの心」を育て「人との関わり方」を身につける。			
本人支援 人間関係社会性	・季節ごとの様々なイベントを提供し、四季を感じることから豊かな感性や表現する力を養う。 ・他者と同じ体験を共有し、喜びを感じるような集団活動を提供する。（イベント、運動、音楽遊び、ゲーム、買い物ごっこ、デジタル絵本、ふくらむアート展作品作り、プール遊びなど） ・遊びの中からルールを学び、お手伝いから社会性を学び成長を促す。			
家族支援	・個別支援計画に基づいた保護者面談を行う。 ・利用の様子を連絡ノートや口頭でお伝えし、活動の様子をお便りやインスタの掲載でお知らせする。 ・茶話会を開催し、保護者間の交流を図る。	移行支援	・児童発達支援センターや相談員との情報共有と連携を行う。 ・保護者や関係機関と連携し、利用者の成長に合わせた支援を行う。 ・卒業を見据えた課題を設定し取り組んでいく。 ・卒業後の事業所の情報提供を行う。	
地域支援・地域連携	・学校や関係機関との情報共有と連携を行う。 ・地域の方との交流を大切にする。 （公共施設の利用、ボランティアさん、高齢者施設訪問など）	職員の質の向上	・各種の外部研修への参加と月１回の内部研修を行い、職員の資質向上に努めている。 ・毎日の打ち合わせで利用者の情報を共有し、統一した支援を目指している。 ・職員による事業所評価や保護者アンケートをもとに業務改善に努めている。	
主な行事等	・季節の行事（進級進学を祝う会、子供の日、七夕、十五夜、ハロウィン、クリスマス、初詣、節分、ひなまつり等）　・避難訓練（火災、地震、洪水、不審者、他施設） ・施設外活動　・外食　・ボランティア、外部講師によるイベント（ふれあい動物、コンサート、マジック、体操教室、ミュージックセラピー、リトミック等）　・誕生会 ・高齢者施設訪問　・ボランティア活動（サイクリングロードのゴミ拾い）			